

**乳腺外科：令和元年度 学会発表（共同演者、講演も含む）**

1. 第5回 Breast Cancer Board in 熊本 1月9日 熊本 中野正啓、西村令喜 他

当院における PARP 阻害剤を使用した再発乳がん症例の検討

2. 乳がんチーム医療懇話会 2月1日 熊本 安丸 愛

乳がんの画像診断～病理診断に於けるチーム医療 画像診断の立場から

3. 乳がんチーム医療懇話会 2月1日 熊本 遠山 亮佐

乳がんの画像診断～病理診断に於けるチーム医療 病理診断の立場から

4. Halaven Expert Meeting in 熊本 2/14 中野 正啓

多種類の抗がん剤前治療歴のある HER2 陽性再発乳がんに対してエリブリンと分

子標的薬を併用投与した1例

5. 第16回日本乳癌学会九州地方会 沖縄 3/2-3

中野正啓，西村令喜，大佐古智文，奥村恭博，藤末真実子，有馬信之

オラパリブ（リムパーザ）を投与して奏効した再発乳がんの1例

6. 第16回日本乳癌学会九州地方会 沖縄 3/2-3

奥村恭博，大佐古智文，中野正啓，藤末真実子，有馬信之，西村令喜

ホルモン療法による深部静脈血栓症を合併した転移性 乳がんの1例

7. 第16回日本乳癌学会九州地方会 沖縄 3/2-3 西村令喜

イブニングセミナー講演 “CDK4/6 阻害剤への期待と問題点 そして今後に向けて”

8 . 第 4 回くまもと乳腺診断セミナー 3/9 有馬信之

乳癌診断における画像および病理所見の対比

9 . St.Gallen International Breast Cancer Conference. Primary Therapy of Early Breast

Cancer Evidence, Controversies, Consensus. 3/20-23 2019, Vienna /Austria

Yasuhiro Okumura, Tomofumi Osako, Masahiro Nakano, Mamiko Fujisue, Nobuyuki

Arima, and Reiki Nishimura.

Investigation of the clinicopathological and prognostic risk factors for

the recurrence of breast cancer in elderly patients over 75 years of age

10 . 平成 30 年度 第 8 回長崎県病院薬剤師会学術講演会 3/28 西村令喜

再発・進行乳がんにおけるチーム医療

～アベマシクリブの臨床的意義について～

11 . 第 119 回日本外科学会学術集会 4/18-20 大阪 西村令喜

ランチオンセミナー Luminal タイプ再発乳癌に対する分子標的薬の位置付け

12 . リビング医療セミナー 女性のためのがん市民講座 熊本 4/20 大佐古智文

乳がん診療の今とこれから

13 . リビング医療セミナー 女性のためのがん市民講座 熊本 4/20 有馬信之

がんの性格を知る～病理診断で分かること～

14 . 日本乳癌学会 第8回乳腺専門医セミナー講義 東京 5 / 8-19 西村令喜

第1章 乳癌の基礎知識“バイオロジー、癌遺伝子、腫瘍マーカー、生理、疫学”

15. 2019 ASCO Annual Meeting, Chicago (USA), 5/30 – 6/5,

Reiki Nishimura, Hirofumi Mukai, Yukari Uemura, Hiromitsu Akabane, Youngjin

Park, Masato Takahashi, Yoshiaki Sagara, Tsutomu Takashima, Tomomi Fujisawa,

Yasuo Hozumi, Takuya Kawahara, Takanori Watanabe.

Evaluation of oral S-1 as a first-line chemotherapy for metastatic HER2-negative

breast cancer: An analysis of two randomized phase III studies (SELECT BC-

CONFIRM and SELECT BC).

J Clin Oncol 37, 2019 (suppl; abstr 1083)

16. 2019 ASCO Annual Meeting, Chicago (USA), 5/30 – 6/5,

Nobuyuki Arima, Reiki Nishimura, Tomofumi Osako, Yasuhiro Okumura, Masahiro

Nakano, Mamiko Fujisue

Evaluation of androgen receptor expression in core needle biopsies and clinico-

pathological factors in primary breast cancer.

J Clin Oncol 37, 2019 (suppl; abstr e12023).

17, ページニオ学術講演会 6/27 長崎市 西村令喜

特別講演 ER+/HER2-進行再発乳癌に対するアベマシクリブの位置付け

18. ページニオ学術講演会 6/27 長崎市 今福曜子

特別講演 その一言から構築されたチーム医療

～ ページニオの副作用マネージメントに至るまで～

19. 乳癌治療講演会 in Sasebo 7/5 佐世保市 西村令喜

特別講演 ER+/HER2- 進行再発乳癌に対する CDK4/6 阻害剤の位置づけ

～ 特にアペマシクリブについて～

20. 第 27 回日本乳癌学会学術総会 7 / 11 - 13、 東京、

大佐古智文、西村令喜、奥村恭博、中野正啓、藤末真美子、有馬信之、豊住康夫

シンオポジウム： HER2 陽性浸潤性乳癌 770 例のリアルワールド

21. 第 27 回日本乳癌学会学術総会 7 / 11 - 13、 東京、

杉松睦美、早田麻生、端山文子、甲斐嗟世、藤本真理子、山口ゆか、森下美枝、

福島洋子、今福曜子、須古杏子、森岡淳子、藤末真美子、中野正啓、奥村恭博、

大佐古智文、西村令喜

パネルディスカッション：おさえておきたい！看護師の介入・連携

22. 第 27 回日本乳癌学会学術総会 7 / 11 - 13、 東京、

今福曜子、福島洋子、山田充宏、須古杏子、森岡淳子、藤末真美子、中野正啓、

奥村恭博、大佐古智文、西村令喜

パネルディスカッション：外来通院患者を支援するためのチーム医療 ～院内から

調剤薬局まで連携するなかでの看護師の役割～

23 . 第 27 回日本乳癌学会学術総会 7 / 11 - 13、 東京、村上優子、福島洋子、杉

松睦美、藤末麻美子、中野正啓、奥村恭博、大佐古智文、有馬信之、西村令喜

院内 ACP ( アドバンス・ケア・プランニング ) 研究会の活動報告医療

24 . 第 27 回日本乳癌学会学術総会 7 / 11 - 13、 東京、中野正啓、西村令喜、大

佐古智文、奥村恭博、藤末真実子、有馬信之

当院におけるパルボシクリブ使用症例の検討

25 . 第 27 回日本乳癌学会学術総会 7 / 11 - 13、 東京、

奥村恭博、大佐古智文、中野正啓、藤末真実子、有馬信之、西村令喜

高齢者乳癌 ( 75 歳以上 ) における臨床病理学のおよび予後に関する検討

26 . 第 27 回日本乳癌学会学術総会 7 / 11 - 13、 東京、

有馬信之、西村令喜、大佐古智文、奥村恭博、中野正啓、藤末真美子

熊本県における乳癌 HER2 ならびに Ki-67 免疫染色の施設間較差の検証

27 . 第 27 回日本乳癌学会学術総会 7 / 11 - 13、 東京、

西東葉子、畑中義美、西村令喜、大佐古智文、西山康之、奥村恭博、中野正啓、

藤末真実子、有馬信之

MRI による術前化学療法の効果判定

28 . 第 27 回日本乳癌学会学術総会 7 / 11 - 13、 東京、

福島洋子、杉松睦美、藤末真実子、中野正啓、奥村恭博、大佐古智文、西村令喜

PARP 阻害剤発売による遺伝性乳癌卵巣癌症候群診療の臨床現場の変化

29 . 第 27 回日本乳癌学会学術総会 7 / 11 - 13、 東京、

山田充宏、須古杏子、森岡淳子、大佐古智文、奥村恭博、中野正啓、藤末真実

子、西村令喜

化学療法による乳がん患者の「訴え」の変化 ~ 病棟配置薬剤師の聞き取りによる情

報分析 ~

30 . 第 27 回日本乳癌学会学術総会 7 / 11 - 13、 東京、

渡辺隆紀、向井博文、朴英進、高橋将人、相良安昭、西村令喜、高島勉、藤澤

知巳、穂積康夫

転移・再発乳癌に対するアンスラサイクリン系薬剤と S-1 のランダム化比較試験

( SELECT BC-CONFIRM )

31 . 第 27 回日本乳癌学会学術総会 7 / 11 - 13、 東京、

淡河恵津世、有村健、荻野尚、唐宇飛、辻千代子、岩熊伸高、磯本一郎、久保

真、西村令喜、光山昌珠

早期乳癌に対する陽子線治療による乳房部分照射 ( 第 I / II 相試験 )

32 . 乳がんチーム医療研究会 7 / 19、 熊本、 今福曜子

乳がん治療の変遷とがん治療のサポート体制：外来通院患者を支援するための手

ーム医療 ～院内から調剤薬局まで連携するなかでの看護師の役割～

33 . 乳がんチーム医療研究会 7 / 19、 熊本、 杉松睦美

乳がん治療の変遷とがん治療のサポート体制：おさえておきたい！看護師の介入・連携

34 . 乳がんチーム医療研究会 7 / 19、 熊本、大佐古智文

HER2 陽性浸潤性乳癌 770 例のリアルワールド

35 . 第 15 回 熊本乳癌研究会 7/27 熊本 日野甲斐、橋谷直樹、福島智、有馬信

之、藤末真実子、中野正啓、奥村恭博、大佐古智文、西村令喜

乳腺 MRI における Ultrafast Dynamic の有用性の検討

36 . 第 15 回 熊本乳癌研究会 7/27 熊本 井上祐子、五嶋すみれ、最所このみ、

安丸愛、有馬信之、藤末真実子、中野正啓、奥村恭博、大佐古智文、西村令喜

乳癌術前検査における Second look 超音波検査の有用性と所見の検討

37 . 第 12 回久留米・筑後乳がん診療地域連携研究会 8/2 久留米 西村令喜

特別講演「乳がん診療の最前線」

38 . 佐賀県乳癌治療講演会 8/23 佐賀市 須古杏子

特別講演「チームで取り組む副作用マネジメント」

39 . 佐賀県乳癌治療講演会 8/23 佐賀市 西村令喜

特別講演「進行・再発乳癌において CDK4/6 阻害剤が有効となる症例は？」

40 . Pfizer Breast Cancer Symposium in Ehime 8/30 松山市 西村令喜

特別講演「再発進行乳がん治療における CDK4/6 阻害剤の位置付け」

41. 熊本外科集談会 9/14 熊本

藤末真実子、中野正啓、奥村恭博、大佐古智文、西村令喜、有馬信之

当院におけるセンチネルリンパ節生検症例の検討

42. 熊本外科集談会 9/14 熊本 村上奈央、藤末真実子、中野正啓、奥

村恭博、大佐古智文、西村令喜、有馬信之

抗 HER2 療法が長期間奏功している進行乳癌症例の検討

43. AstraZeneca Kyusyu Breast Cancer TV Seminar 10/9 西村令喜

HER2 陰性進行・再発乳癌における BRCA/遺伝学的検査から得られるもの

ーリムパーザの使いどころー

44. AstraZeneca Kyusyu Breast Cancer TV Seminar 10/9 福島 洋子

BRCA 遺伝学的検査のサポート体制 ～当センターにおける外来看護師の役割～

45. 第 57 回日本癌治療学会 学術集会 10/24-26 福岡

藤末真実子，中野正啓，奥村恭博，大佐古智文，西村令喜，有馬信之

ER 低発現乳癌の生物学的特徴と予後: ER 陰性および ER 高発現乳癌との比較

46 . 第 57 回日本癌治療学会 学術集会 10/24-26 福岡

高橋將人、増田慎三、西村令喜、井上賢一、大野真司、岩田広治、戸井雅和



ER+閉経後進行乳癌患者における palbociclib の国内第 2 相試験:最新の有効性・安全  
全性成績

47. 第 57 日本癌治療学会 学術集会 10/24-26 福岡 高島 勉、向井博  
文、上村由香里、西村令喜、他

臓器別シンポジウム 03 「乳癌治療 Up to Date」

再発乳癌 1 次化学療法としてのアンスラサイクリンまたはタキサンと S-1 の比較

48. 第 57 日本癌治療学会 学術集会 10/24-26 福岡

高橋将人、増田慎三、西村令喜、井上賢一、大野真司、岩田広治、戸井雅和

ER+閉経後進行乳癌患者における palbociclib の国内第 2 相試験：最新の有効性・  
安全性成績

49. 第 13 回 広瀬病院“患者様のつどい” 福岡 西村令喜

特別講演「最新の乳がん治療について—患者さんの思いとチーム医療—」

50. 南大阪乳癌チーム医療講演会 11/12 堺市 西村令喜

特別講演 「HR+HER2- 進行・再発乳癌治療における最新情報 –CDK4/6 阻害  
剤の位置付け—」

51. 南大阪乳癌チーム医療講演会 11/12 堺市 今福曜子

特別講演 「専門職でつなぐ乳癌チーム医療 —ページニオの副作用マネーজে  
ントを中心に—」

52 . The 5<sup>th</sup> International Consensus Conference for Advanced Breast Cancer (ABC),

11/14-16, Lisbon, Portugal

Yuichiro Kikawa, Kentaro Sakamaki, Tomomi Fujisawa, Kazuhiro Araki, Takayuki

Iwamoto, Takafumi Sangai, Tadahiko Shien, Shintaro Takao, Reiki Nishimura,

Masato Takahashi, Tatsuya Toyama, Tomohiko Aihara, Hirofumi Mukai, Naruto

Taira

“Health-related quality of life in 2nd-line endocrine therapy for patients with

acquired endocrine-resistant postmenopausal ER-positive, HER2-negative

metastatic breast cancer: the HORSE-BC study “

53 . 横浜川崎乳がんチーム医療講演会 12/6 横浜 西村令喜

1年間の経験から得られたページニオの臨床的意義

54 . 横浜川崎乳がんチーム医療講演会 12/6 横浜 今福曜子

安心して治療を受けるための乳がんチーム医療

～ページニオ副作用マネジメントを中心に～

55 . San Antonio Breast Cancer Symposium 2019, 12/10-14, San Antonio, USA

Reiki Nishimura, Tomofumi Osako, Yasuhiro Okumura, Masahiro Nakano, Mamiko

Fujisue and Nobuyuki Arima

An evaluation of p53 overexpression as a predictor of prognosis and

chemotherapy benefit in relation to subtypes in primary invasive breast cancer

56 . San Antonio Breast Cancer Symposium 2019, 12/10-14, San Antonio, USA

Nobuyuki Arima, Reiki Nishimura, Tomofumi Osako, Yasuhiro Okumura, Masahiro

Nakano and Mamiko Fujisue

Comparison of androgen receptor expression in core needle biopsies with  
surgical samples in primary breast cancer

56. San Antonio Breast Cancer Symposium 2019, 12/10-14, San Antonio, USA

Yurina Harada, Makoto Kubo, Hitomi Mori, Masaya Kai, Mai Yamada, Kanako

Kurata, Hitomi Kawaji, Kazuhisa Kaneshiro, Saori Hayashi, Akiko Shimazaki,

Takafumi Morisaki, Rin Yamaguchi, Nobuyuki Arima, Reiki Nishimura, Masayuki

Okido and Masafumi Nakamura

PD-L1 expression of tumor infiltrating immune cells has potential as a biomarker in  
triple-negative breast cancers

57 . 第 136 回日本保険薬局協会 ( NPhA ) 九州・沖縄ブロック 熊本エリア研修会

12/19 熊本 西村令喜

乳癌治療における最新情報～ホルモン療法を中心に～

58 . Breast Cancer Seminar in Kumamoto 12/20 熊本 須古杏子

自施設における irAE 対策

59.第6回 Kumamoto Breast Cancer Board in 熊本 1/8 熊本 福島洋子、大佐

古智文

HBOC に対する遺伝学的検査とコンパニオン診断について

60. 乳がんチーム医療懇話会 2/7 熊本 今福曜子

パルボシクリブ内服患者における服薬状況の検討

61. 第26回日本乳腺疾患研究会 2/21-22 北九州 安丸 愛、五嶋すみれ、最所

このみ、井上裕子、有馬信之、藤末真実子、中野正啓、奥村恭博、大佐古智文、

西村令喜

乳癌術後の乳房超音波検査における乳癌像の特徴

62. 第34回日本がん看護学会 教育セミナー14 今福曜子

乳がん患者を支援するチーム医療 多職種をつなぐ看護師の役割

63. 第34回日本がん看護学会 教育セミナー14 西村令喜

ER陽性乳がんに対するホルモン療法について

～とくに CDK4/6 阻害剤の使いどころ～

64. 第17回日本乳癌学会九州地方会 3/14-15 鹿児島市(誌上開催) 奥村恭博、

大佐古智文、中野正啓、藤末真実子、西村令喜

一次内分泌療法としてのパルボシクリブ治療後のエベロリムスの使用経験

令和元年度 学術論文 (共同著者も含む)

1. Hitomi Mori, Makoto Kubo, Masaya Kai, Mai Yamada, Kanako Kurata,  
Hitomi Kawaji, Kazuhisa Kaneshiro, **Tomofumi Osako**, **Reiki Nishimura**,  
**Nobuyuki Arima**, Masayuki Okido, Junji Kishimoto, Yoshinao Oda,  
Masafumi Nakamura.

T-bet+ lymphocytes infiltration as an independent better prognostic indicator  
for triple-negative breast cancer

Breast Cancer Res Treat. 2019 Aug;176(3):569-577.

2. Shinji Ohno, Hirofumi Mukai, Kazutaka Narui, Yasuo Hozumi, Yasuo Miyoshi,  
Hiroshi Yoshino, Hiroyoshi Doihara, Akihiko Suto, Motoshi Tamura,  
Takashi Morimoto, Hisamitsu Zaha, Takashi Chishima, **Reiki Nishimura**,  
Takashi Ishikawa, Yukari Uemura, Yasuo Ohashi.

Participants in a randomized controlled trial had longer overall survival than non  
-participants: a prospective cohort study.

Breast Cancer Res Treat. 2019 Aug;176(3):631-635.

3. Tamura K, Imamura CK, Takano T, Saji S, Yamanaka T, Yonemori K, Takahashi M,  
Tsurutani J, **Nishimura R**, Sato K, Kitani A, Ueno NT, Mushiroda T, Kubo M,

Fujiwara Y, Tanigawara Y.

CYP2D6 Genotype-Guided Tamoxifen Dosing in Hormone Receptor-Positive  
Metastatic Breast Cancer (TARGET-1): A Randomized, Open-Label, Phase II  
Study.

J Clin Oncol. 2020 Feb 20;38(6):558-566.

4. Takahashi Masato; Masuda Norikazu; **Nishimura Reiki**; Inoue Kenichi; Ohno  
Shinji; Iwata Hiroji; Hashigaki Satoshi; Muramatsu Yasuaki; Umeyama Yoshiko; Toi  
Masakazu .

Palbociclib-letrozole as first-line treatment for advanced breast cancer: Updated  
results from a Japanese phase 2 study

Cancer Medicine

5. Hirofumi Mukai, Takeshi Yamaguchi, Masato Takahashi, Yasuo Hozumi, Tomomi  
Fujisawa, Shouzou Ohsumi, Hiromitsu Akabane, **Reiki Nishimura**, Tsutomu  
Takashima, Youngjin Park, Yasuaki Sagara, Tatsuya Toyama, Shigeru Imoto,  
Toshiro Mizuno, Satoshi Yamashita, Satoshi Fujii, and Yukari Uemura.

Ki-67 Response-Guided Preoperative Chemotherapy for HER2-Positive Breast  
Cancer: Results of a Randomized Phase II Study

J Cancer. 2020 Apr 2. doi: 10.1038/s41416-020-0815-9.

6. Kurata K, Kubo M, Kai M, Mori H, Kawaji H, Kaneshiro K, Yamada M, **Nishimura**

**R, Osako T, Arima N**, Okido M, Oda Y, Nakamura M.

Microsatellite instability in Japanese female patients with triple-negative breast cancer.

Breast Cancer. 2020 Jan 6. doi: 10.1007/s12282-019-01043-5.

7. Yamashiro H, Iwata H, Masuda N, Yamamoto N, **Nishimura R**, Ohtani S, Sato N,

Takahashi M, Kamio T, Yamazaki K, Saito T, Kato M, Lee T, Kuroi K, Takano T,

Yasuno S, Morita S, Ohno S, Toi M; JBCRG-C01 Collaborative Group.

Outcomes of trastuzumab therapy in HER2-positive early breast cancer patients: extended follow-up of JBCRG-cohort study 01.

Breast Cancer. 2020 Feb 14. doi: 10.1007/s12282-020-01057-4.

8. Swain SM, Miles D, Kim SB, Im YH, Im SA, Semiglazov V, Ciruelos E, Schneeweiss

A, Loi S, Monturus E, Clark E, Knott A, Restuccia E, Benyunes MC, Cortés J;

**CLEOPATRA study group**.

Pertuzumab, trastuzumab, and docetaxel for HER2-positive metastatic breast cancer (CLEOPATRA): end-of-study results from a double-blind, randomised, placebo-controlled, phase 3 study.

Lancet Oncol. 2020 Apr;21(4):519-530.